



地域なんでも情報局

第29号
平成29年12月8日発行
長崎市社会福祉協議会
長崎市上町1番33号

表彰を受けられた皆さま

- 長崎市社会福祉協議会 会長表彰 41名・5団体
- 県共同募金会 長崎市支会長表彰 3地区
- 日本赤十字社 長崎県支部長表彰 1地区

おめでとうございます!



大学生の司会に合わせて
要約筆記、手話の同時通訳



社会福祉大会は、赤い羽根共同募金の配分金の一部で開催されています。地域の皆様並びに当日の運営にご尽力いただいた関係者の皆様により感謝申し上げます。

特別講演

大村市社協 山下浩司事務局長



アトラクション

障がい者長崎打楽団 瑞宝太鼓



第35回長崎市社会福祉大会



35回大会テーマ
「手をつなごう!
共に生きる
地域を目指して」



今年も! 社会福祉大会開催!
心温まる福祉活動で活躍されています。皆さま

11月19日(日)、長崎市民会館文化ホールにて『第35回長崎市社会福祉大会』を開催しました。社会福祉大会は、日頃から社会福祉活動に関わっている方々の功績を表彰するとともに、市民の皆さんに「身近な福祉」について伝える事を目的に開催しています。

式典では、市内の福祉関係機関及び各地区の社協支部などから表彰の推薦があった方・団体などの表彰を行いました。今大会は昨年発生した相模原障害者施設殺傷事件を模倣した出来事を受け、

70th
おかげさまで70周年

今回ご紹介するのは、NPO法人環境保全教育研究所で代表理事を務める豊田菜々子(ななこ)さんです。NPO法人環境保全教育研究所(別名「へんちくりん」)は、その名の通り竹林の里山保全などを行いながら、自然体験活動やまちづくり支援などを行っています。平成22年の設立当初、当時まだ大学生だった豊田さんは、これからの運営やどんな活動をしていくかなど、全くの手探り状態だったそうです。そんな中、事務所がある田手原町周辺の地域の方が竹を切る手伝いをしてくれたり、地域の行事に呼んでくれたりと、地域の方たちに助けられることが多くあったそうです。そうして地域の中に入ってきた活動も多くなってきた頃、田手原町の近くにある白木町の自治会長から、自治会で開催している高齢者ふれあいサロン(以下、「サロン」という。)に、若い世代の力を貸して欲しいと手伝いを頼まれ、4年前からサロンの運営に協力することになりました。



NPO法人環境保全
教育研究所
豊田 菜々子さん

あの人! どんなん人! こんなん人

サロンでは、軽体操やレクリエーション、おしゃべりなどをしてみんなで楽しい時間を過ごしますが、豊田さんは当初、どんなことをすれば参加する方に喜んでもらえるか悩んだそうです。レクリエーションもみんな楽しんでゲームを考えたたり、お菓子作りをしたり、年末には門松作りをしたり、気候の良い時期にはハイキングをしたりするなど、いろいろな工夫や趣向を凝らしてやってきたおかげで、参加者の方たちも孫のような世代の豊田さんたちと一緒に交流ができる月1回のサロンを楽しみにして来てくれるようになりました。豊田さんに、これまでサロンを手伝ってきて印象に残ったことを聞いてみると、「参加した人から、『この前サロンで教わったことを家でもやってみたよ!』と言われたのが嬉しかったです。」と笑顔で答えてくれました。今ではサロンだけでなく、地域の様々な行事やイベントに呼ばれて忙しい日々を送っています。



手熊防災町自治会

11月19日(日)午前9時30分、防災無線のアナウンスを合図に、手熊町自治会の防災訓練が開始されました。避難所となる地区公民館へ避難したのち、市防災危機管理室による講話や各ブースに分かれての消防車の乗車体験、救命講習、煙体験、車椅子体験等、参加型の訓練を通して、防災意識の向上が図られました。



15分交代ですべてのブースを体験します



車椅子で避難する方もいました

階段は、移動補助用具を使って大人2人で抱えて上ります

訓練実施までの経緯
手熊町自治会では、長崎大水害の翌年の昭和58年に自主防災組織を結成し、平成25年には、地域の避難所や危険箇所、過去に災害があった場所等を地図上に落

とし込んだ「地域防災マップ」を作成しています。また、昨年から地域防災地図上に高齢者や障がい者などの避難行動要支援者やその方々を支援する支援者等の情報を落とし込む「ささえあいマップ」作成に取り組みはじめ、各種関係機関との協働のもと、マップを活用した訓練の開催が企画されました。

長崎市や市社協では、
①地域防災マップづくり
②ささえあいマップづくり
③避難訓練の実施
という一連の流れで各自治会にご提案させていただいています。

地域の防災意識の向上及び日頃のささえあい活動の推進のため、皆様の地区でも実施してみませんか。



消防車や災害用救助車の見学・乗車体験もできました

キャッチくんもきたよ

銭座の底力！銭座校区大運動会

10月29日に開催された、この大運動会は、銭座校区で毎年行われており、今年記念すべき40回目を迎えます。季節はずれの台風により、開催が危ぶまれていましたが、プログラムの変更などを行いながら、午前中は体育館で、午後はグラウンドで予定通り競技が行われました。



今回は記念大会ということもあり、地元ダンスクラブの子も達によるダンスの披露や十善寺龍踊会による演舞などで会場内は大いに盛り上がっていました。前日から降り続いた雨により会場の銭座小学校グラウンドは水溜りが多数見られました。早朝から地元住民や学生、地元の企業関係者など多くの関係者が集まり、誰から指示を受けるでもなく、一人ひとりがグラウンド整備やテント設営などを懸命に行っておられました。また、銭座小学校の児童が手作りポスターや高齢者への招待状(お手紙)づくりを行うなど、まさしくみんなでつくり上げられた運動会ということが随所に感じられました。「安全・安心なまちづくりのため、地域の先輩方が大切に育ててきたこの運動会をこれからもみんなで守り育てて行きましょう。」という開会式での大石連合自治会長の挨拶や、運動会の運営に尽力されていた多くの大会役員の方々の背中が、子ども達や次の世代の方々へのメッセージのように感じました。



迫力ある演舞の後には、会場の子も達による体験龍踊りも行われました！

市内の小・中学校に訪問しています

福祉体験学習



車イス、アイマスク、高齢者疑似体験、講話などで、毎回目をキラキラ輝かせた児童生徒との学習は楽しいもので、こちらも元気をもらいます。



ここで、ある児童が書いた感想を紹介します。

市社協ボランティア室では、長崎市内の小中学校を対象とした「福祉体験学習」を行っています。

今年度は、講師として小中学校合せて60校からお招きがあり、その対応に日々汗しています。

この体験のねらいは、誰もが助け合うことができる社会づくりをめざし地域の一員として、困っている人の立場にたって行動ができる力を身につけるきっかけづくりです。その内容は、

高齢者ふれあいサロンサポーター養成講座について



長崎市では、平成21年度から毎年、高齢者ふれあいサロンサポーター養成講座を開催しております。現在、同養成講座を修了された750名近くの方々ボランティア登録をし、高齢者ふれあいサロンにおいてサポーターとして活動しています。

- ①週1回開催型... 53箇所
- ②月1~2回開催型... 100箇所



*当会ホームページから「地域なんでも情報局」バックナンバーのダウンロードができるようになりました！
『長崎市社協 地域なんでも情報局』で検索下さい。